

「Fukuoka Art Next」今月のアート（12月）

福岡市は、彩りにあふれたアートのまちを目指して、暮らしのなかで身近にアートに触れる機会を増やし、アーティストの成長支援に取り組む「Fukuoka Art Next」を推進します。

市民がアートを身近に感じられるよう、福岡で活躍しているアーティストの作品を、月初めの定例会見において紹介します。

■ アーティストについて

三好 直樹（みよし なおき）

1981年佐賀県生まれ、福岡市在住。独学で絵画制作活動をおこない、2013年より初個展。2019年第一回タガワアートビエンナーレ「英展」優秀賞受賞。2022年「Fukuoka Wall Art Project」入賞。

■ 作品について

作家名 : 三好直樹
作品名 : 流（りゅう）
制作年 : 2023年
材質技法 : 墨、木工用ボンド・パネル
サイズ : 41.0×31.8（cm）



黒い円の連なりがうねうねと動くように描かれています。一見、書のように見えますが、作家はヘラを用い、下から上へとひといきに描きました。その始まりから終わりまでの一連の過程は人生や物事の変化を思わせます。途中わざと静止したり、墨のたまりを加えたりして、転機や新たな展開を表現しようとしてしました。最後に描かれた、先端の丸い形は、新たな成長や始まりを予感させます。

【お問い合わせ先】

経済観光文化局美術館学芸課 担当：山木、後藤

TEL：714-6054 FAX：714-6145 E-mail：yamaki@fukuoka-art-museum.jp